

取扱説明書

FlexScan® L350

液晶カラーディスプレイ

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

▲	使用上の注意	1
1.	はじめに	7
1-1.	梱包品の確認	7
1-2.	各部の名称	8
2.	セットアップ	9
2-1.	接続手順	9
2-2.	画面が表示されたら	13
3.	画面調整 / 設定方法	19
3-1.	操作方法	19
3-2.	各調整 / 設定項目について	21
4.	故障かなと思ったら	29
5.	お手入れ	32
6.	アフターサービス	33
7.	仕様	34
8.	さくいん	38



絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。



注意（警告を含む）を促すものです。

たとえば  は「感電注意」を示しています。



禁止の行為を示すものです。

たとえば  は「分解禁止」を示しています。



行為を強制したり指示するものです。

たとえば  は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は電波雑音規格VCCIクラスBに適合しておりますが、誤った使用をされた場合は保証しかねますので下記の点に注意してください。

- 電源コードは必ず付属品をご使用ください。
- 信号ケーブルは本書に従い、必ずEIZO純正ディスプレイケーブルをご使用ください。
- 電源のアースは必ず接地してください。
- 本体の内部およびケーブルの改造はしないでください。

本装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、平成6年10月3日付け通商産業省エネルギー庁公益事業部長通達、6資公部 第378号、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

【本製品は日本国内専用モデルです】

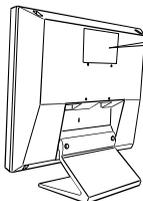
本製品は、日本国内専用品として製造・販売されております。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This monitor is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.

▲ 使用上の注意

ご使用になる前には、ディスプレイ背面の「警告表示」、および「使用上の注意」をよくお読みになり、必ずお守りください。

<背面警告表示>



	<p>CAUTION:Risk of electric shock. Do not open.</p> <p>ATTENTION:Risque de choc électrique. Ne pas ouvrir.</p> <p>ACHTUNG:Gefahr des elektrischen schlagens. Rückwand nicht entfernen.</p> <p>警告：高圧注意 サービスマン以外の方は裏ぶたをあげないでください。 内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。</p>	
<p>The equipment must be connected to a grounded main outlet. Jordet stikkontakt skal benyttes når apparatet tilkobles datanett. Apparaten skall anslutas till jordat nätuttag. 電源コードのアースは必ず接地してください。</p>		

▲ 警告

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐ抜く

異常現象（煙、変な音、においがするなど）が発生した場合、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイソーサポートにご連絡ください。そのまま使用されると火災や感電、故障の原因となります。



電源プラグを抜く

裏ぶたを取り外したり、ディスプレイを改造したりしない

本体内部には、高電圧や高温になる部分があり感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



分解禁止・改造禁止

異物を入れない

本体の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電、故障の原因となります。



異物を入れない

液晶パネルが破損した場合は素手で触れない

ディスプレイが破損した場合、破損部分に直接素手で触れないでください。触れる場合には、液を通さないボリの手袋などを使用してください。もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一漏れ出した液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



液晶パネルが破損した場合は、素手で触れない



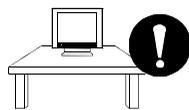
電源プラグを抜く

警告

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置くと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



安定した場所に置く

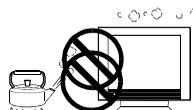


電源プラグを抜く

次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- ・湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- ・直射日光や照明光などが直接画面にあたる場所や熱器具、加湿器の近く。



設置場所に注意

ディスプレイの近くに液体の入ったものを置かない

ディスプレイの内部に液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、ディスプレイ内部に液体をこぼした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。点検、修理の必要があります。



液体を置かない



電源プラグを抜く

アームやスタンドに取り付ける場合は確実に設置する

アームや別のスタンドを使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい確実に設置してください。なお、取り付けには、必ず本機に付属しているネジを使用してください。確実に設置されていないと、外れて落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

アーム/スタンド取り付けについては、p.11を参照ください。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。



確実に取り付ける



電源プラグを抜く

プラスチック袋はおお客様の手の届かないところに保管するディスプレイを包装してあるプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



プラスチック袋
で遊ばない

付属の電源コードを使用する

付属のもの以外を使用すると火災や感電の原因となります。



付属の電源コードを
使用する

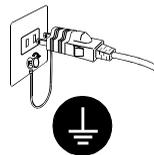
警告

電源コードのアースリードを接地する

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地してください。アース接続は必ず、電源プラグを電源につなく前におこなってください。また、アースを外す場合は必ず、電源プラグを電源から抜いてからおこなってください。感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード線、および三芯プラグのアース部が、使用していないコンセントの電極に接触しないようにしてください。

なお、本製品は日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドライン(PC-11-1988)に適合しております。



アースを接地する

誤った電源接続をしない

- ・表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ・タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因となります。
- ・電源はコンピュータのサービスコンセントなどから取らないでください。故障や火災の原因となります。



禁止



タコ足配線しない

電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったり、加工したり、束ねて結んだりすると電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



電源コードを傷つけない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持つ

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグの部分を持ってください。コード部分を引っ張るとコードが傷ついて、火災、感電の原因となります。



プラグ部分を持つ

雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

雷が鳴り出したら電源プラグや電源コード、信号ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

ディスプレイを廃棄する場合は一般の廃棄物と一緒にしない
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に液晶ディスプレイを捨てないでください。本機に使用の蛍光管（バックライト）の中には水銀が含まれていますので、ディスプレイの廃棄にあたっては地方自治体の条例または規則にしたがってください。



一般の廃棄物と一緒にしない

⚠️ 注意

運搬のときには、以下のことに注意する

- ・ディスプレイを移動するときは、電源コードや信号ケーブルを外してください。手足や周囲にケーブルやコードを引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。



コードやケーブルは外して移動する

- ・ディスプレイを移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つようにしてください。落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。



持ち方に注意

- ・運搬の際、周囲のものにぶついたりしないでください。液晶パネルや内部の蛍光管（バックライト）を破損し、けがの原因となることがあります。万一、破損した場合には販売店またはエィゾーサポートにご連絡ください。



ディスプレイを傷つけない

通風孔をふさがない

- ・通風孔の上や周囲に本や書類など、ものを置かないでください。
 - ・ディスプレイを風通しの悪い狭いところに置かないでください。
 - ・ディスプレイを横倒しや、逆さにして使わないでください。
- 上記のように通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や故障、感電の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

屋外や車載用には使用しない

本製品は屋内専用仕様です。屋外や車載用には使用しないでください。火災や感電、故障の原因となることがあります。



屋外、車載使用禁止

一日の作業の終わりや長期不在などで、ディスプレイを使用しない場合には電源プラグも抜く

安全および省エネルギーのため、ディスプレイの電源スイッチを切った後、電源プラグも抜いてください。



電源プラグを抜く

電源コード（コンセント、ディスプレイ側）はしっかり差し込む

しっかり奥まで差し込まれていないと、火災や感電の原因となることがあります。



しっかり差し込む

濡れた手で電源プラグをさわらない

濡れた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。感電の原因となることがあります。



濡れた手でプラグをさわらない

▲ 注意

電源プラグの周囲にものを置かない

異常現象が発生した場合、すぐ電源プラグを抜くことができるように、周辺にものを置かないでください。



禁止

クリーニングの際は電源プラグも抜く

プラグを差したままで、クリーニングをおこなうと感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

クリーニングの際には溶剤や薬品などを使用しない

シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなどの溶剤や薬品は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

クリーニングの方法については、p.32「5.お手入れ」を参照ください。



溶剤や薬品などは使用しない

電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となることがあります。



定期的に掃除する

正しくご使用いただくために

見やすく、また設置しやすいように、本体は目の高さよりやや低い位置にセットしてください。
また、長時間ディスプレイを見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。



画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶ディスプレイに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイソーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。



（液晶パネルを押したあとが残った場合、画面表示を白い画面などに変更すると解消されることがあります。）

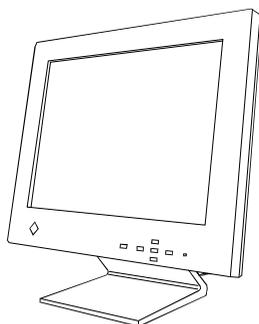
液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないでください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

1. はじめに

このたびは当社液晶ディスプレイをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 梱包品の確認

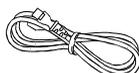
以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送のために保管していただくことをおすすめします。



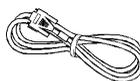
ディスプレイ本体



二芯アダプタ



電源コード



信号ケーブル
(MD-C87/MD-C100)



「EIZO LCD
ユーティリティディスク」
(DOS/Windows®/
Macintosh共通)



アーム(スタンド)
取り付け用ネジ
M4×16mm 4本



取扱説明書
(本書)



保証書

1-2. 各部の名称

前面

ScreenManager™

画面の調整 / 各種設定が、画面上のメニューを見ながら簡単にできます。<p.19 参照>

オートボタン

クロック、フェーズ、表示位置を調整し、適切な位置に画像を表示します。

コントロールボタン

ScreenManager でディスプレイの調整 / 設定をおこなう際に使用します。

エンターボタン

ScreenManager を起動し、ディスプレイの調整 / 設定をおこなう際に使用します。

電源ランプ

緑： オペレーションモード
緑(点滅)：オフタイマー予告期間
<p.26 参照>

黄： 節電モード
黄(点滅)：オフタイマーモード
<p.26 参照>

電源スイッチ

背面

電源コネクタ

アーム / スタンド取り付け穴

信号入力コネクタ

盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブルなどを接続することができます。

2. セットアップ

2-1. 接続手順

注意点

- ・ ディスプレイとコンピュータの電源スイッチが入っていないことを確認してください。
- ・ 信号ケーブルを延長して使用した場合などに画面が乱れることがありますので、必ず付属のケーブルを使用し、直接コンピュータと接続してください。
- ・ 今まで使用していたディスプレイを本機に置き換える場合、コンピュータと接続する前に、画面設定（解像度¹、周波数）を必ず本機で表示できる設定（p.13 表示可能モード参照）に変更しておいてください。

Windows 95/98をお使いの場合は、「EIZO LCDユーティリティディスク」（付属品）内の「Windows 95/98用ディスプレイ情報ファイル」をインストールし、本機を選択しておいてください。詳しい手順はディスク内のreadmeja.txtを参照してください。

1. 信号ケーブルを信号入力コネクタとコンピュータに接続します。

お使いのコンピュータに合った信号ケーブルをご使用ください。（次ページ参照）
信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。

2. 付属の電源コードを電源コネクタと電源コンセントに接続します。（次ページ参照）

電源コンセントが二芯の場合は付属の二芯アダプタを使用し、必ずアースリード線を接地してください。

警告

電源コードは必ず付属のものを使用してください。それ以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。

二芯アダプタを使用する場合、安全および電磁界輻射低減のため、必ずアースを接続してください。
アースの接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前におこなってください。またアース接続を外す場合は、先に電源プラグを電源から抜いてから外してください。順番を間違えますと感電の原因となります。



付属の電源コードを使用する



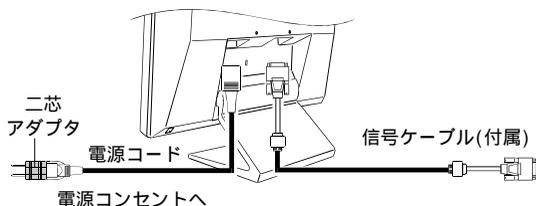
アースを接地する

<次ページへつづく>

1 解像度とは・・・

一般的には、画面に表示するドット数を表します。
たとえば、15型のディスプレイに640×480ドットで表示した時は、ドットあたりの大きさは大きくなりますが、一つの画面に表示できる情報量は低下します。同じディスプレイに1024×768ドットを表示させると、情報量は多くなりますが、ドットあたりの大きさは小さくなります。同じサイズのフォントでも、解像度が異なると大きさが違って見えます。

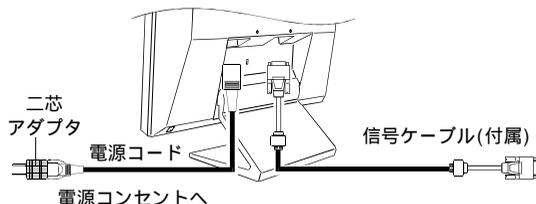
DOS/V マシンの場合



D-SUB15ピン(ミニ)
<3列>

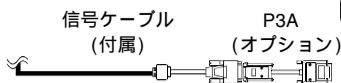
DOS/Vマシン

NEC PC-9821 / PC98-NX シリーズの場合



D-SUB15ピン(ミニ)
<3列>

PC-9821Xa7,9,10など
PC98-NXシリーズ

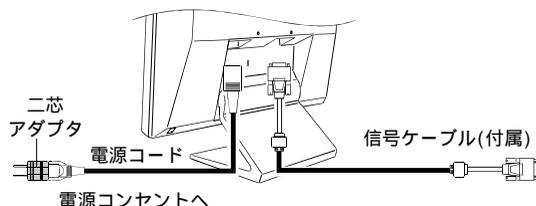


D-SUB15ピン<2列>

PC-9821シリーズ

P3A(PC-9821シリーズ用コネクタ)

Apple Macintosh の場合



D-SUB15ピン(ミニ)
<3列>

Power Macintosh G3
(Blue & White) など



D-SUB15ピン<2列>

Macintosh

M6A(Macintosh用アダプタ)

3. 電源スイッチを入れます。

ディスプレイの電源スイッチを入れ、次にコンピュータの電源スイッチを入れます。
電源ランプが点灯（緑色）し、画面が表示されます。
なお、ディスプレイご使用後は電源スイッチを切ってください。

参考

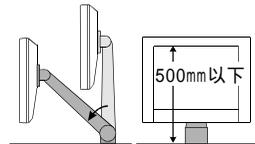
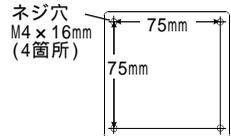
・電源スイッチを入れても画面が表示されない場合には、p.29「4. 故障かなと思ったら」を参照してください。

本機をアームやスタンドに取り付ける場合

本機のスタンド部分は取り外すことによって、アームや別のスタンドに取り付けることが可能になります。

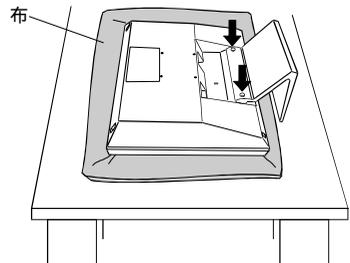
注意点

- ・ 本機に取り付けるアームおよびスタンドは、以下の点に注意してお選びください。
 - ・ VESA規格に対応しているもの
 - ・ ディスプレイに取り付ける部分のネジ穴間隔が75×75mmで、本機に付属しているネジ(M4×16mm)で取り付けができるもの(右図参照)
 - ・ 8.0kgまでの重さに耐えられるもの
 - ・ ディスプレイを取り付けても外れたり、倒れたりしないもの
 - ・ 手で動かした位置に留まるもの
 - ・ 前後に動かすことができるもの
 - ・ ディスプレイを取り付けて、一番低い位置に固定したときディスプレイの画面最上部からアームまたはスタンドの取り付け位置までが500mm以下であるもの(右図参照)
- ・ アームおよびスタンドを取り付けた後、ケーブル類を接続してください。



取り付け方法

1. 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
2. ディスプレイからスタンド部分を取り外します。
(別途ドライバーを準備ください。)
ドライバーを使って、パネルとスタンドを固定しているネジ(2箇所)を取り外します。



<次ページへつづく>

3. ディスプレイをアームまたはスタンドに取り付けます。

警告

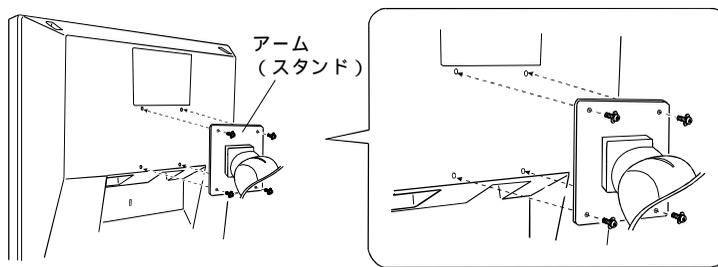
ネジは必ず本機に付属しているものを使用し、最後までしっかりと回してください。

取り付けが不十分な場合、ディスプレイが外れ、けがや故障の原因となることがあります。



確実に取り付ける

アームおよびスタンドはそれらの取扱説明書も併せて参照の上、確実に取り付けてください。なお、本体から取り外したスタンドを再度取り付ける場合には、必ず使用されていた元のネジを使用してください。



取り付け用ネジ (付属)
: M4 × 16mm

2-2. 画面が表示されたら

表示可能モード（解像度）/ディスプレイ表示画面について

表示可能解像度 ^{注1}	垂直周波数	ディスプレイ画面に表示される解像度 ^{注2}	
640 × 480	～75Hz	1024 × 768	
720 × 400 (320 × 200 ^{注3})	70Hz	1024 × 768	DOS/V
800 × 600	～75Hz	1024 × 768	注4
1024 × 768	～75Hz	1024 × 768	注4, 注5

注1：本機が対応している解像度です。上記以外の解像度（たとえば832×624など）に設定すると、表示がずれたり、画面が欠けたり、画面が表示されなかったりすることがあります。

注2：液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機の液晶パネルには、横1024個、縦768個の画素が敷き詰められています。このため、1024×768の解像度であれば画像は画面いっぱいそのままの比率で表示されますが、640×480や800×600などの低解像度の場合、1024×768の解像度に拡大されて表示されます。

なお、拡大された画像の文字や線は、くっきりと表示されない場合があります。本機はそのような場合に、くっきりとした文字や線に調整できる機能を搭載しています。表示された文字や線がぼやけて見える場合は、ScreenManager<ピクチャー調整>の<スミング>で調整してみてください。（p.22参照）

注3：本機は320×200と720×400の解像度を判別することができません。したがって、この2つの解像度に設定する場合は、ディスプレイ側にその設定解像度を判別させる必要があります。判別させないと画面がずれて表示されてしまうことがあります。ScreenManager<その他>の<VGA選択>で解像度を選択設定してください。（p.27参照）

注4：Macintoshの場合、機種により表示できるモードが異なります。そのため、ご使用のMacintoshによっては表示できる場合と表示できない場合があります。また、VGA/SVGAモードをサポートしていないMacintoshではこれらのモードは表示できません。

注5：ご使用のグラフィックスアクセラレータにより表示できる場合と表示できない場合がありますので、ご使用のシステムが表示できる解像度および周波数を確認の上お使いください。

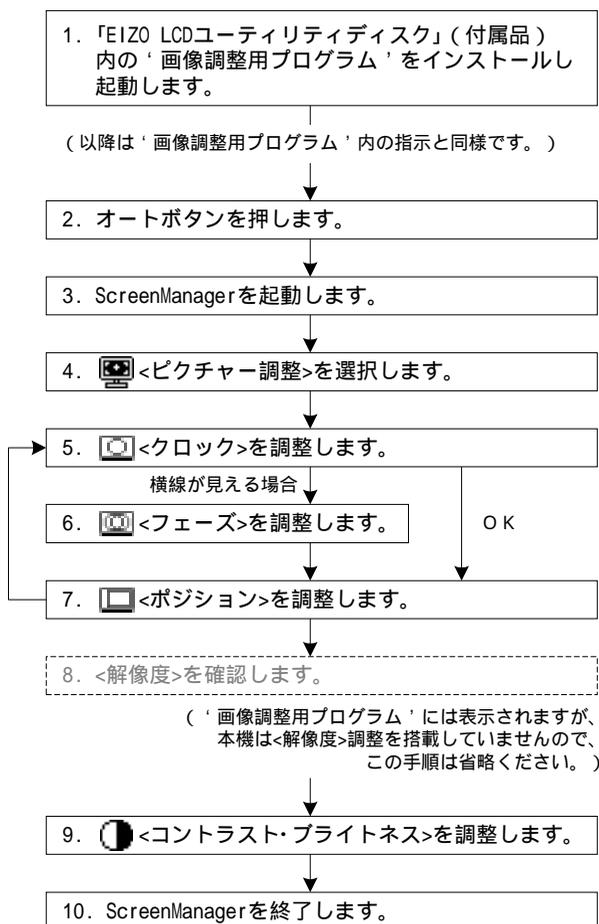
Windows 95/98をご使用の場合（本機をWindowsに認識させる）

「EIZO LCDユーティリティディスク」(付属品)をインストールしてください。ディスクをインストールすることによって、Windows 95/98のモニターリストに本機を登録できますので、その中から本機を選択します。インストール方法については、ディスク内のreadmeja.txtを参照してください。（ディスクには、本機がサポートする解像度などディスプレイの仕様に関する情報が入っています。）

画像を調整する

快適に使用していただくために、ディスプレイを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定を変更した場合には、ScreenManager<ピクチャー調整>を使用して画像を調整していただくことをおすすめします。（ScreenManagerの操作方法および<ピクチャー調整>の各項目の詳細については、p.19、p.21～p.22も併せて参照ください。）

以下の流れに沿って画像調整について説明します。手順にしたがって調整してください。



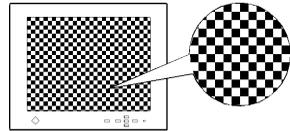
注意点

- ・液晶ディスプレイの画像の調整とは、使用するシステムに合わせ、画像のちらつきを抑えたり画面位置や画面サイズを正しく調整するためのものです。好みの位置やサイズに調整するものではありません。
- ・本機には代表的な信号（p.36 プリセットタイミング表参照）がプリセットされていますが、接続されるコンピュータの種類によりScreenManagerで画像の調整が必要な場合があります。また、ScreenManagerを使用して調整することで、プリセットされていない信号でも表示できる場合があります。
- ・調整はディスプレイの電源を入れて、20分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。）

1. 「EIZO LCDユーティリティディスク」（付属品）より、ご使用のシステムに対応した「画面調整用プログラム」をディスク内のreadmeja.txtまたは「お読みください」ファイルにしたがって、インストールし起動します。

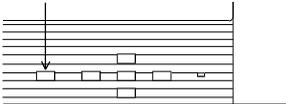
参考

- ・ご使用のシステムに対応したプログラムがない場合は、画面に1ドット抜きのパターン（右図参照）などを表示して以下の手順に進んでください。

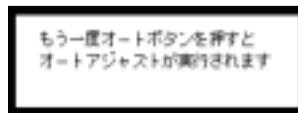


2. フロントパネルのオートボタンを押します。以下のようなメッセージが表示されますので、表示されている間にもう一度オートボタンを押します。オートアジャスト機能が働き（動作中であることを示す画面が表示されます）、クロック、フェーズ、表示位置が調整されます。

オートボタン



メッセージ



機能動作中に表示される画面

**注意点**

- ・表示中に何も操作をしないと約5秒後にメッセージは消えます。また表示中にオートボタン以外のボタンを押しても、メッセージは消えます。
- ・この機能はMacintoshやWindowsなど、表示可能エリア全体に画像が表示される場合に正しく動作します。
DOSプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。また、一部のグラフィックスボードやプリセットされている信号（p.36 プリセットタイミング表参照）以外の場合にも、正しく動作しない場合があります。そのような場合は以降の手順にしたがって調整をおこなってください。

3. フロントパネルのエンターボタンを押して、ScreenManagerメインメニューを表示します。



4. メインメニューより<ピクチャー調整>を選択し、エンターボタンを押してサブメニューを表示します。

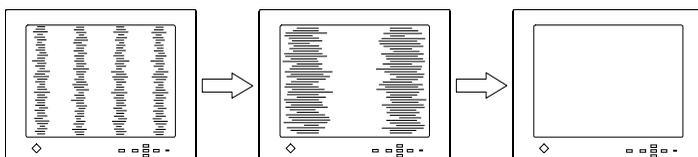


5. クロックを調整します。

サブメニューより<クロック>を選択し、エンターボタンを押します。クロック調整画面が表示されます。



画面上に縦縞が出ていたら、左・右のコントロールボタンを使用して縦縞が消えるように調整します。



注意点

- ・ クロックが合っても画面全体にじみやちらつき、横線が出ている場合があります。これは次のフェーズ調整で消すことができますので、以降の手順にしたがって調整してください。

参考

- ・ クロックを調整すると、水平の画面サイズも変化します。
- ・ コントロールボタンを押し続けると調整速度が速くなりますが、調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンをゆっくり押し調整するようにしてください。

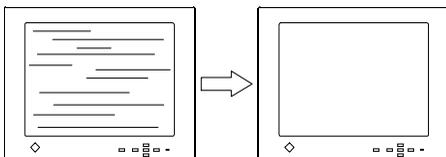
調整が終わったら、エンターボタンを押します。
クロックの設定値がディスプレイに記憶され、サブメニューに戻ります。

6. フェーズを調整します。

サブメニューより  <フェーズ> を選択し、
 エンターボタンを押します。
 フェーズ調整画面が表示されます。



画像がちらついていたり、にじむように見える場合、左・右のコントロールボタンを使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。



注意点

- ・ お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

調整が終わったら、エンターボタンを押します。
 フェーズの設定値がディスプレイに記憶され、サブメニューに戻ります。

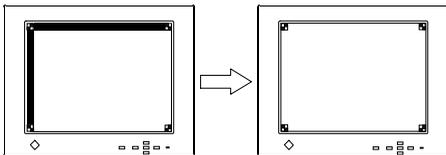
7. ポジションを調整します。

サブメニューより  <ポジション> を選択し、
 エンターボタンを押します。
 ポジション調整画面が表示され、スクリーンの
 四隅にマーカーが表示されます。



画像の左上とマーカーが合っていない場合は、上・下・左・右のコントロールボタンを使用し、画像の左上をスクリーン上の左上のマーカーに合わせるように調整します。

垂直方向の調整は上・下のボタンで、水平方向の調整は左・右のボタンでおこないます。



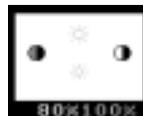
参考

- ・ ポジションを調整した際に、画像に縦縞が現れた場合は、クロック調整に戻り、再度手順にしたがって調整をおこなってください(クロック フェーズ ポジション)。

調整が終わったら、エンターボタンを押します。
 ポジションの設定値がディスプレイに記憶され、サブメニューに戻ります。

8. コントラストを調整します。

サブメニューより  <コントラスト> を選択し、
エンターボタンを押します。
コントラスト・ブライツネス調整画面が表示されます。



コントラスト・ブライツネス調整画面が表示されている状態で、前面パネルのオートボタンを押します。コントラストが自動的に調整され（調整中であることを示す画面が表示されます）、最大の色階調で画像を表示します。
調整にしばらく時間がかかります。

自動調整中に
表示される画面



上・下のコントロールボタンでブライツネスを調整し、画面全体の明るさをお好みの状態に調整します。

調整が終わったら、エンターボタンを押します。
コントラストの設定値がディスプレイに記憶され、サブメニューに戻ります。

注意点

- ・ コントラストは、ご使用のグラフィックスボードが出力できる最大輝度での白色が画面上に表示されている時に適切に調整されます。

9.  <リターン> を選択し、エンターボタンを押します。メインメニューに戻りますので、 <メニューオフ> を選択し、エンターボタンを押します。

3. 画面調整 / 設定方法

-ScreenManager機能を使って-

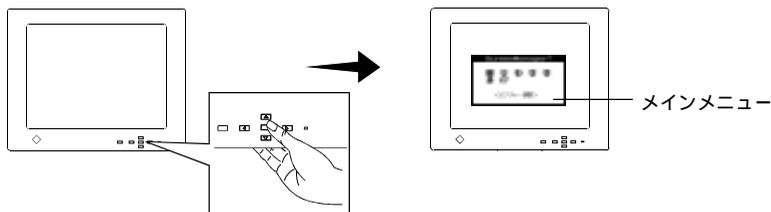
注意点

- ・画面の調整はディスプレイの電源を入れて、20分以上経過してからおこなってください。内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。

3-1. 操作方法

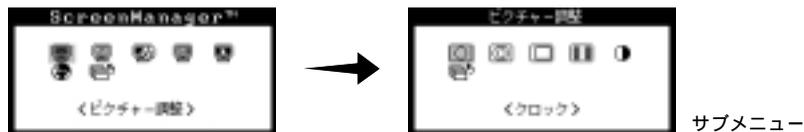
起動(メインメニューの表示)

フロントパネルのエンターボタンを押し、メインメニューを表示します。



調整 / 設定

1. 上・下・左・右のコントロールボタンを押し、調整/設定したい項目へ移動します。
2. エンターボタンを押すと、項目が選択され、サブメニューが表示されます。



3. それぞれの調整/設定方法にしたがって調整/設定をおこなってください。
(詳細は各項目の説明を参照してください。)
4. 調整/設定を終えたら、エンターボタンを押し、その調整/設定を確定してください。

終了

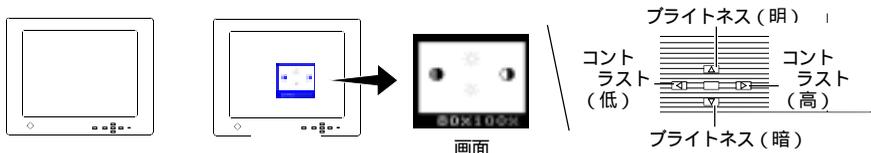
1. サブメニューより  <リターン> を選択し、エンターボタンを押します。
メインメニューに戻ります。
2.  <メニューオフ> を選択し、エンターボタンを押します。
メインメニューが消え、ScreenManagerが終了します。

参考

- ・ ‘下’ のボタンを2回押すと、 <リターン> / <メニューオフ> の位置に移動できます。
- ・ エンターボタンをすばやく2回続けて押すと、どの調整画面からでもScreenManagerを終了できます。
- ・ ScreenManager画面表示中に何も操作をしないと、約45秒後に自動的に画面が消え、ScreenManagerが終了します。

ショートカットキー機能

ScreenManagerを起動しないで（エンターボタンを押さないで）、直接コントロールボタンを押すと、コントラスト・ブライツネスの調整ができます。
コントラスト・ブライツネスの調整については、p.22を参照してください。

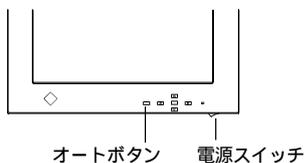


調整後はエンターボタンを押すとScreenManagerが終了します。

調整ロック機能

一度調整/設定した状態をむやみに変更したくないときは調整ロック機能をご利用ください。

- ・調整ロックされる： ScreenManagerによる調整/設定、オートボタン
- ・調整ロックされない： ショートカットキー機能によるコントラスト・ブライツネス調整



設定方法：いったん電源スイッチを切ります。オートボタンを押しながら電源スイッチ入ると、調整ロックがかかり画面が表示されます。

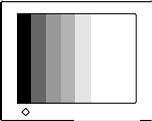
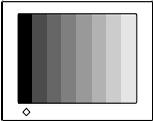
解除方法：いったん電源スイッチを切ります。オートボタンを押しながら再度電源スイッチを入ると、調整ロックが解除され画面が表示されます。

3-2. 各調整 / 設定項目について

ピクチャー調整 (画像調整)



サブメニューアイコン/ 調整/設定画面	調整 / 設定項目
 <クロック> 	<ul style="list-style-type: none"> 画面に縦縞が出ている場合や、画像の一部がちらついたり、にじむように見える場合に調整します。 左・右のコントロールボタンで水平方向のクロック数を調整します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 本機はアナログ入力方式を採用しています。この方式ではアナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示します。信号を変換する際に、使用しているグラフィックスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があり、このクロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。クロック調整をおこなうと水平サイズも変化します。 </div>
 <フェーズ> 	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体がちらついていたたり、にじむように見える場合に調整します。 左・右のコントロールボタンで調整します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> フェーズ調整は、必ずクロックを調整した後におこなってください。 お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、画面のちらつきやにじみが完全にならなない場合があります。 アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングのタイミングを調整します。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことでクリアな画像が得られます。 </div>
 <ポジション> 	<ul style="list-style-type: none"> 画像の表示位置がずれている場合に調整します。 上・下のコントロールボタンで垂直方向の、左・右のコントロールボタンで水平方向の画像の表示位置を調整します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイは画素数および画素位置が固定であるため、正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画面を正しい位置に移動させるための調整です。 </div>

サブメニューアイコン/ 調整/設定画面	調整/設定項目
 <スムージング> 	<ul style="list-style-type: none"> ・表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合に調整します。 左・右のコントロールボタンで調整します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・この機能は、設定した解像度が「1024×768」の場合には使用できません。（このアイコンを選択することができません。） </div>
 <コントラスト・ ブライトネス> 	<p><コントラスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・左・右のコントロールボタンで入力信号のレベルを調整し、全ての色階調（0～63の64レベル）を表示できるように調整します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>全ての階調が表示される ように調整された状態</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コントラストが 高すぎる (明るい色が白く 表示される)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コントラストが 低すぎる (明るい色も暗く 表示される)</p> </div> </div> <p style="margin-top: 20px;">【自動調整方法（オートコントラストレベル機能）】</p> <p>コントラスト・ブライトネス調整画面を表示させたまま、フロントパネルのオートボタンを押します。調整中は右のような画面が表示されます。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>【手動調整方法】</p> <p>左・右のコントロールボタンでコントラストを調整し、調整画面の%表示が白色から黄色に変わった時点で調整を止めます。%表示が黄色で安定しないで、白色になり黄色になったりしていても構いません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・画面全体の明るさはブライトネス調整でおこないます。 ・入力信号を変更した場合以外、コントラストを正しく調整した後はコントラスト調整を使わないでください。 </div> <hr style="border-top: 1px dashed black; margin: 20px 0;"/> <p><ブライトネス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックライトの明るさを調整し、画面全体の輝度を好みの状態に調整します。 コントロールボタンを上・下に押して調整します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・液晶ディスプレイでは、バックライトからの光が遮断された部分が画面上で黒く表示されます。このため、ブライトネス調整でバックライトの明るさを調整しても、画面上の「黒」の輝度はほとんど変化しません。 </div>

カラー調整



サブメニューアイコン/ 調整/設定画面	調整/設定項目
 <p><カラーモード 1></p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーモード選択 カラーモードを選択することで、画面のカラーを調整します。白い背景のアプリケーションを使用している場合などに、背景の白色の色合いを変えることができます。 ・カラーモード1：個体本来の白色 ・カラーモード2：青っぽい白色 ・カラーモード3：赤っぽい白色 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーモード2とカラーモード3では、全ての色階調を表示することができません。 </div>
 <p><ゲイン></p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲイン調整² ディスプレイに表示される色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明度（ゲイン）を調整することにより、色調をつくります。 <p>【調整手順】</p> <p>上・下のコントロールボタンで調整する色を選択し、左・右のコントロールボタンで各色の値を調整します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・Windowsのウィンドウのような背景が白またはグレーの画面でおこなってください。 ・それぞれのゲイン調整をおこなって白レベルを調整します。それぞれの色は%で表示されます。 ・各色の調整は、画面の%表示が黒色の間におこなってください。紫色に変わると適正な色階調に調整することができません。 </div> <p style="text-align: center;"><次ページへつづく></p>

1 カラーモードについて…

カラーモード1は初期状態では液晶パネル本来の色、つまり色調の調整を何もしていない状態のモードです。このモードが赤、緑、青、全ての色の階調を最も多く表示できる（表示されるべき階調を正しく表示できる）モードです。通常はこのモードをご使用ください。

2 ゲイン調整とは…

赤、緑、青のそれぞれの色の値を調整するものです。液晶ディスプレイではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

サブメニューアイコン/ 調整/設定画面	調整/設定項目
	<p>ゲイン調整後、「セーブ」を選択し、エンターボタンを押します。セーブ画面より、「セーブ」を選択し、エンターボタンを押します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・セーブしなければ、電源をオフにしたときに、その調整状態は失われます。 ・色調整をはじめからやり直したい場合、「リセット」を選択しエンターボタンを押します。「リセット」を選択しエンターボタンを押すと、色調はプリセット状態にリセットされ、サブメニューに戻ります。 </div> <p>最後にコントラストを再調整し、ブライトネス調整で明るさを調整してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・各調整項目の「%表示」は、各調整項目ごとの可変範囲を100%としたときの現在のレベルを表わすものです。目安としてご利用ください。 ・ディスプレイにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。 ・カラーモード1は初期状態では色の階調を全て表示できるモードですが、カラーモード1を選択してゲイン調整をおこなってしまうと、階調を全て表示することができなくなります。 </div>

PowerManager (節電設定)



サブメニューアイコン/ 調整/設定画面	調整/設定項目												
 <設定> 	<ul style="list-style-type: none"> PowerManager設定 コンピュータを一定時間使用しない場合のディスプレイの消費電力を抑えます。 												
<ul style="list-style-type: none"> 本機能はVESA DPMS¹に準拠しています。VESA DPMSに対応したコンピュータ(グラフィックスボード)と接続している場合のみPowerManagerが働きます。 													
<ul style="list-style-type: none"> コンピュータ側の節電設定 (VESA DPMS設定) が必要です。コンピュータの取扱説明書を参照し、節電設定をおこなってください。 													
<p>【ディスプレイ節電の流れ】</p>													
<p>VESA DPMSにはオン、スタンバイ、サスペンド、オフ信号の4種類の信号形態があります。コンピュータ側の信号変化をディスプレイ側が認知、その5秒後に節電モードに入ります。節電モードから画面を復帰させるにはキーボードまたはマウスを操作します。</p>													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>信号</th> <th>ディスプレイの状態</th> <th>電源ランプ</th> <th>消費電力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オン</td> <td>オペレーションモード</td> <td>緑色</td> <td>35W</td> </tr> <tr> <td>スタンバイ、サスペンド オフ</td> <td>節電モード</td> <td>黄色</td> <td>3W以下</td> </tr> </tbody> </table>		信号	ディスプレイの状態	電源ランプ	消費電力	オン	オペレーションモード	緑色	35W	スタンバイ、サスペンド オフ	節電モード	黄色	3W以下
信号	ディスプレイの状態	電源ランプ	消費電力										
オン	オペレーションモード	緑色	35W										
スタンバイ、サスペンド オフ	節電モード	黄色	3W以下										
<ul style="list-style-type: none"> 本機をご使用にならないときは、更なる節電のためにディスプレイの電源をオフすることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで、確実にディスプレイ本体への電源供給は停止します。 													

1 VESA DPMSとは...

(Video Electronics Standard Association - Display Power Management Signaling)

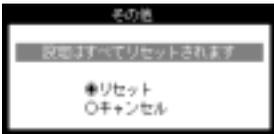
VESAでは、コンピュータ用ディスプレイの省エネ化を実現させるため、コンピュータ(ボード)側からの信号の標準化をおこなっています。DPMSはコンピュータとディスプレイ間の信号の状態について定義しています。

その他（各種設定）



サブメニューアイコン/ 調整/設定画面	調整/設定項目
 <p><オフタイマー></p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・オフタイマー設定 ディスプレイの使用時間を設定することにより、自動的に電源を切ることができます。 上・下のコントロールボタンで「有効」「無効」を選択、左・右のコントロールボタンでディスプレイの使用時間を設定します。
<p>・本機能はディスプレイに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象¹を軽減させるための機能です。たとえば、一日中同じ画面を表示させておくような場合にご利用ください。</p> <p>【オフタイマーの流れ】 設定したディスプレイの使用時間が終了すると、自動的に電源を切り、オフタイマーモードに移行します。オフタイマーモードへ移行すると、表示画面が消え、電源ランプが黄（点滅）に変わります。オフタイマーモードから画面を復帰させるには、フロントパネル上のいずれかのボタンを押すか、電源スイッチを切/入します。</p> <p>【オフタイマー予告機能・時間延長機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源オフ予告機能 設定時間終了前の約15分間、電源ランプの点滅（緑）で電源がオフになることを予告します。（=予告期間） ・電源オフ時間延長機能 予告期間中にフロントパネル上のいずれかのボタンを押すと、押した時点から90分延長することができます。なお、延長された90分の終了15分前にも終了の予告機能が働き、この予告期間中に上記操作をすると、さらに90分延長することができます。（延長機能には制限がなく、何度でも延長できます。） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・節電モード時でも、オフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なしに電源がオフされます。 </div>	

1 残像現象とは・・・ 同じ画面を長時間表示することによって、画面表示を変えたときに前の画面が残像として見えてしまう現象です。これは液晶の特性によるもので、別の画面が表示されてしばらく経過すると解消されます。

サブメニューアイコン/ 調整/設定画面	調整/設定項目																		
<p> <VGA 選択></p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・VGA選択 入力されている信号の解像度(「720×400」あるいは「320×200」)を選択設定することにより、表示画面を適正な位置に表示します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・設定が異なっている場合、表示位置がずれることがあります。 ・この機能は、設定した解像度が720×400あるいは320×200以外の場合は使用できません。(このアイコンを選択することができません。) </div>																		
<p> <メニューポジション></p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューポジション メニュー画面をお好みの位置に設定できます。 <p>上・下・左・右のコントロールボタンを押して移動します。</p>																		
<p> <リセット></p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・リセット 調整/設定状態をすべて初期設定に戻すことができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・主な初期設定 <table data-bbox="520 895 935 1070"> <tr> <td>ピクチャー調整：</td> <td>コントラスト</td> <td>「80%」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ブライツネス</td> <td>「100%」</td> </tr> <tr> <td>カラー調整：</td> <td>カラーモード</td> <td>「1」</td> </tr> <tr> <td>PowerManager：</td> <td>「VESA DPMS」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他：</td> <td>オフタイマー</td> <td>「無効」</td> </tr> <tr> <td>言語選択：</td> <td>「日本語」</td> <td></td> </tr> </table> 	ピクチャー調整：	コントラスト	「80%」		ブライツネス	「100%」	カラー調整：	カラーモード	「1」	PowerManager：	「VESA DPMS」		その他：	オフタイマー	「無効」	言語選択：	「日本語」	
ピクチャー調整：	コントラスト	「80%」																	
	ブライツネス	「100%」																	
カラー調整：	カラーモード	「1」																	
PowerManager：	「VESA DPMS」																		
その他：	オフタイマー	「無効」																	
言語選択：	「日本語」																		

インフォメーション



・インフォメーション

現在のScreenManagerによる設定状況が確認できます。

インフォメーションは2ページあり、エンターボタンを押すごとに1/2、2/2と変わります。

各ページでは以下のインフォメーションが表示されます。

- 1/2 : 現在入力されている信号の解像度、水平/垂直周波数
- 2/2 : カラーモード、PowerManager設定、オフタイマー、VGA選択

言語選択



・言語選択

ScreenManagerに表示される言語（日本語あるいは英語）が選択できます。

4. 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合には、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

症状	チェックポイント / 対処方法
画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	電源コードが正しく差し込まれていますか。 電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 電源コードの故障が考えられます。別のコードに差し替えて確認してください。
・電源ランプが点灯する < 緑色 > < 黄色 > < 黄色 (点滅) >	コントラストおよびブライトネスの設定が非常に低いため表示されていないように見えるのかもしれませんが、設定を確認してみてください。 節電モードに入っていないですか。マウス、キーボードを操作してみてください。(p.25参照) オフタイマーモードに入っていないですか。フロントパネル上のいずれかのボタンを押すか、電源スイッチを切/入してみてください。(p.26参照)
「入力信号チェック」画面が表示される この表示は約40秒間表示されます。	この表示はディスプレイが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。表示により原因が違います。
	コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがありますが、その後しばらくして画像が適切に表示される場合はディスプレイの故障ではありません。コンピュータの電源は入っていますか。
信号が入力されていない場合の表示です。	信号ケーブルが正しく接続されていますか。 グラフィックスボードがコンピュータにきちんと差し込まれていますか。 以上の操作で解決できない場合、他のディスプレイやコンピュータ、ケーブルをお持ちの方は、それぞれ取り替えて原因がどこにあるかご確認ください。
(例) 	グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
入力されている信号が、本ディスプレイの周波数仕様範囲外であることを示す表示です。範囲外の信号は赤色で表示されます。	

注意点

- 仕様範囲から著しくかけはなれた信号が入力された場合、数値の表示ができません。

症状	チェックポイント / 対処方法
<p>画像のサイズ・位置が適正でない</p> <p>画像の一部が表示されない</p> <p>余分な画像が表示される</p>	<p>ScreenManager<ピクチャー調整>の<ポジション>調整にて画像の左上をスクリーン上のマーカーに合わせてください。(p.17,21参照)</p> <p>ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。</p> <p>解像度の設定が「720×400」あるいは「320×200」の場合、ScreenManager<その他>の<VGA選択>の設定を確認してください。設定が異なっている場合、画面の表示位置がずれることがあります。(p.27参照)</p>
<p>画面がちらつく、にじむように見える</p>	<p>ScreenManager<ピクチャー調整>の<クロック>調整にてクロックを調整してください。(p.16,21参照)</p> <p>フェーズ調整でフェーズを調整してください。(p.17,21参照)</p> <p>グラフィックスカードがコンピュータにきちんと差し込まれていますか。</p> <p>信号ケーブルが故障しているかもしれません。エイゾーサポートにご相談ください。</p>
<p>文字がぼやけて見える</p>	<p>ScreenManager<ピクチャー調整>の<スムージング>で調整してみてください。(p.22参照)</p>
<p>表示された画面の上部が 下図のように歪む</p> 	<p>コンポジットシンク (X-OR) の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。</p>
<p>残像が現れる</p>	<p>長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えた時に前の画面の残像が現れることがあります。これは液晶の特性によるもので、別の画面が表示されてしばらく経過すると解消されます。</p> <p>長時間同じ画面を表示するようなときには、オフタイマー機能の活用をおすすめします。(p.26参照)</p>
<p>画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る</p>	<p>これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。</p>

症状	チェックポイント / 対処方法
<p>画面上に干渉縞が見られる パネルを押したあとが消えない</p>	<p>表示されている画面を白い画面に変更してみてください。症状が解消されることがあります。</p>
<p>Macintoshをご使用の場合 ・ 1024 × 768モードが選べない ・ 「VGA/SVGA」モードが選べない</p>	<p>1024 × 768をサポートしていないMacintosh、または「VGA/SVGA」モードに対応していないMacintoshの場合は選ぶことができません。 お持ちのMacintoshが1024 × 768をサポートしているか、「VGA/SVGA」モードに対応しているかはアップルコンピュータ株式会社、またはグラフィックスボードをお使いの場合は、ボードメーカーにお問い合わせください。</p>
<p>Macintoshをご使用の場合 「EIZO LCDユーティリティ ディスク」が読み込めない</p>	<p>ディスクを読み込むにはシステムに「PC Exchange」あるいは「File Exchange」がインストールされていることが必要です。 ディスクが読み込めず、「画面調整用プログラム」が利用できない場合でも、1ドット抜きのパターンを表示することで対応できます。（p.15参照）</p>
<p>ScreenManagerが起動できない オートボタンが効かない</p>	<p>調整ロックが機能していないが確認してみてください。（p.20参照）</p>
<p>オートボタンが正しく動作しない</p>	<p>この機能はMacintoshやWindowsなど、表示可能エリア全体に画像が表示される場合に正しく動作します。 DOSプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使っている場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。</p>

5.お手入れ

ディスプレイを美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

⚠警告

水やその他の液体、溶剤、またはそれらを含んだ布などをディスプレイの近くに置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。



液体を置かない

万一ディスプレイ内部に液体をこぼしたり、異物を落としてしまった場合にはすぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。点検、修理の必要があります。



電源プラグを抜く

⚠注意

安全のため、必ず電源コードを抜いてからクリーニングをおこなってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなどの溶剤や薬品は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。



電源プラグ周辺は、ほこり、水、油などが付着しないように定期的に掃除してください。火災の原因となることがあります。



定期的に掃除する

キャビネット

やわらかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。(使用不可の洗剤は上記の注意を参照してください。)

液晶パネル面

- ・ 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。

参考

- ・ 液晶パネル面のクリーニングには、EIZOディスプレイクリーニングキット ScreenCleaner (オプション品)をご利用いただくことをおすすめします。

* 年に1度は内部の掃除・点検をエイゾーサポートにご相談ください。内部にほこりがたまると、故障や火災の原因となることがあります。(内部の掃除・点検は有料となります。)

6. アフターサービス

アフターサービスについてご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は裏表紙に記載してあります。

保証書・保証期間について

- ・ この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げの販売店でお渡しますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- ・ お買い上げ後、保証書に付属している「3年間保証登録カード」に必要な事項を記入し、保証書と切り離して必ずご返送ください。
- ・ 保証期間は、お買い上げの日より3年間です。
- ・ 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低5年間保有しています。
補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

保証期間を過ぎている場合

お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・ お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX番号
- ・ お買い上げ年月日
- ・ 販売店名
- ・ モデル名
- ・ 製造番号
＜ 製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例）S/N 12345678 ＞
- ・ 使用環境
（コンピュータ/グラフィックスボード/OS・システムのバージョン/表示解像度など）
- ・ 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

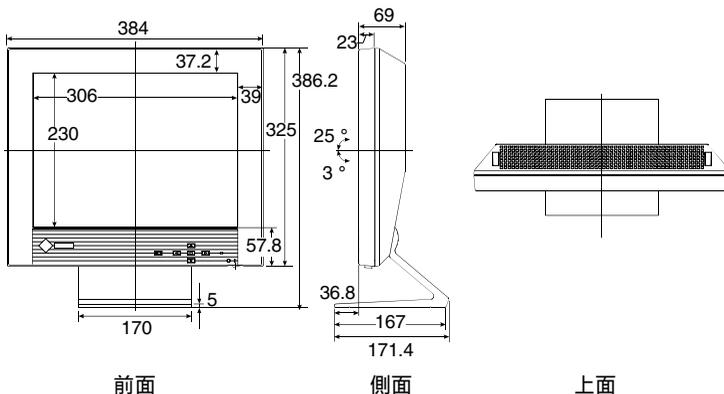
7. 仕様

液晶パネル	38cm (15.0) 型カラー TFT、0.297mm ドットピッチ 乱反射ハードコーティング、視野角：上下 120°、左右 140°	
入力 同期信号	信号形式	a) セパレート、TTL、正/負極性
		b) コンポジット、TTL、正/負極性
入力映像信号	信号形式	アナログ、正極性(0.7Vp-p/75)
ドットクロック	80MHz (最大)	
水平走査周波数	31kHz ~ 61kHz (自動追従)	
垂直走査周波数	50Hz ~ 75Hz (自動追従)	
表示サイズ	304mm (水平) × 228mm (垂直)	
電源	AC100-120V/220-240V ±10%、50/60Hz、0.6A/0.3A	
信号入力コネクタ	D-SUB15 (ミニ) コネクタ	
推奨解像度	1024ドット×768ライン	
ビデオ信号メモリー	28種 (プリセットモード12種)	
最大表示色	1619万色	
消費電力	35W (節電モード：3W以下)	
寸法 (本体)	384mm (幅) × 386.2mm (高さ) × 171.4mm (奥行き)	
重量 (本体)	5.6kg (スタンドを取り外したとき：4.1kg)	
環境条件	動作温度範囲：0 ~ 35、輸送および保存温度範囲：-20 ~ 60、 相対湿度範囲：30% ~ 80% R.H. (非結露状態)	
適合規格	TC0'99*、VCCI クラスB、TÜV Rheinland/S マーク、 TÜV/Rheinland Ergonomics Approved	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 1/2B	

(*TC0'99; ブラックキャビネット仕様を除く)

外観寸法

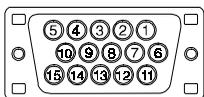
単位：mm



入力信号接続

D-SUB15 (ミニ) コネクタ

D-SUB15 (ミニ) コネクタには下表の信号が入力されます。

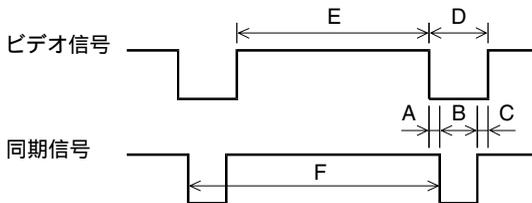


ピン接続	入力信号	ピン接続	入力信号	ピン接続	入力信号
1	赤	6	赤グラウンド	1 1	(10ピンのショート)
2	緑	7	緑グラウンド	1 2	データ (SD)
3	青	8	青グラウンド	1 3	水平同期または 水平 / 垂直 コンポジットシンク
4	グラウンド	9	/	1 4	垂直同期
5	/	1 0	グラウンド	1 5	クロック (SCL)

プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです。

表示モード	ドット クロック		極性	周波数		A: フロントポーチ
				水平: kHz	垂直: Hz	
VGA 320 x 200	25.175 MHz	水平	負	31.468		0.636 / 16
		垂直	正	70.087		0.381 / 12
VGA 640 x 480	25.175 MHz	水平	負	31.468		0.636 / 16
		垂直	負	59.941		0.318 / 10
VGA 720 x 400	28.322 MHz	水平	負	31.468		0.636 / 18
		垂直	正	70.087		0.381 / 12
VESA 640 x 480	31.5 MHz	水平	負	37.86		0.508 / 16
		垂直	負	72.81		0.026 / 1
VESA 640 x 480	31.5 MHz	水平	負	37.5		0.508 / 16
		垂直	負	75.00		0.027 / 1
VESA 800 x 600	36.0 MHz	水平	正	35.16		0.667 / 24
		垂直	正	56.25		0.028 / 1
VESA 800 x 600	40.0 MHz	水平	正	37.88		1.000 / 40
		垂直	正	60.32		0.026 / 1
VESA 800 x 600	50.0 MHz	水平	正	48.08		1.120 / 56
		垂直	正	72.19		0.770 / 37
VESA 800 x 600	49.5 MHz	水平	正	46.88		0.323 / 16
		垂直	正	75.00		0.021 / 1
VESA 1024 x 768	65.0 MHz	水平	正	48.36		0.369 / 24
		垂直	正	60.00		0.062 / 3
VESA 1024 x 768	75.0 MHz	水平	正	56.48		0.320 / 24
		垂直	正	70.07		0.053 / 3
VESA 1024 x 768	78.75 MHz	水平	正	60.02		0.203 / 16
		垂直	正	75.03		0.017 / 1



- A: フロントポーチ
- B: 同期パルス幅
- C: バックポーチ
- D: ブランキング期間
- E: 表示期間
- F: 周期

B:同期パルス幅	C:バックポーチ	D:ブランキング期間	E:表示期間	F:同期
水平:μs/ドット,垂直:ms/ライン				
3.813 / 96	1.907 / 48	6.356 / 156	25.442 / 640	31.778 / 800
0.064 / 2	1.111 / 35	1.556 / 49	12.712 / 400	14.268 / 449
3.813 / 96	1.907 / 48	6.356 / 156	25.442 / 640	31.778 / 800
0.054 / 2	1.048 / 33	1.430 / 45	15.254 / 480	16.683 / 525
3.813 / 108	1.907 / 54	6.356 / 180	25.422 / 720	31.778 / 900
0.064 / 2	1.111 / 35	1.556 / 49	12.712 / 400	14.268 / 449
1.270 / 40	3.810 / 120	5.587 / 176	20.317 / 640	26.413 / 832
0.079 / 3	0.528 / 20	0.634 / 24	12.678 / 480	13.735 / 520
2.032 / 64	3.810 / 120	6.349 / 200	20.317 / 640	26.667 / 840
0.080 / 3	0.427 / 16	0.533 / 20	12.800 / 480	13.333 / 500
2.000 / 72	3.556 / 128	6.222 / 224	22.222 / 800	28.444 / 1024
0.057 / 2	0.626 / 22	0.711 / 25	17.067 / 600	17.778 / 625
3.200 / 128	2.200 / 88	6.400 / 256	20.000 / 800	26.400 / 1056
0.106 / 4	0.607 / 23	0.739 / 28	15.840 / 600	16.579 / 628
2.400 / 120	1.280 / 64	4.800 / 240	16.000 / 800	20.800 / 1040
0.125 / 6	0.478 / 23	1.373 / 66	12.480 / 600	13.853 / 666
1.616 / 80	3.232 / 160	5.172 / 256	16.162 / 800	21.333 / 1056
0.064 / 3	0.448 / 21	0.533 / 25	12.800 / 600	13.333 / 625
2.092 / 136	2.462 / 160	4.923 / 320	15.754 / 1024	20.677 / 1344
0.124 / 6	0.600 / 29	0.786 / 38	15.880 / 768	16.666 / 806
1.813 / 136	19.20 / 144	4.053 / 304	13.653 / 1024	17.707 / 1328
0.106 / 6	0.513 / 29	0.673 / 38	16.599 / 768	14.272 / 806
1.219 / 96	2.235 / 176	3.657 / 288	13.003 / 1024	16.660 / 1312
0.050 / 3	0.466 / 28	0.533 / 32	12.795 / 768	13.328 / 800

注意点

- ・ 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、ScreenManagerで画面の調整が必要になる場合があります。
- ・ 上記以外の信号を入力した場合は、ScreenManagerで画面の調整をおこなってください。ただし、ScreenManagerで調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- ・ インターレースの信号は、ScreenManagerで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

8. さくいん

あ～お

明るさ	22
アフターサービス	33
インフォメーション	28
エイゾーサポート	裏表紙
オートアジャスト	15
オートコントラストレベル	22
お手入れ	32
オフタイマー	26

か～こ

各部の名称	8
画像調整	14
カラーモード	23
カラー調整	23
クリーニング	32
クロック	16,21
ゲイン	23
言語選択	28
故障かなと思ったら	29
コントラスト	18,22
梱包品	7

さ～そ

残像	26
3年間保証登録カード	7,33
スムージング	13,22
仕様	34
使用上の注意	2
ショートカットキー	20
消費電力	34
初期設定	27
接続手順	9
節電機能	25

た～と

調整ロック	20
電源スイッチ	8
電源ランプ	8,25,26

な～の

入力信号接続	35
入力信号チェック	29

は～ほ

背面警告表示	1
フェーズ	17,21
ブライトネス	22
プリセットタイミング	36
ポジション	17,21
保証	33

ま～も

メニューポジション	27
もくじ	1

や～よ

予告期間	8,26
予告機能	26

ら～ろ

リセット	27
------------	----

A～Z

EIZO LCD ユーティリティディスク	7,15
PowerManager	25
ScreenManager	19
VESA DPMS	25
VGA選択	13,27
Windows 95/98	13

Copyright© 2000 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。
-

IBM、VGAはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。DPMSはVideo Electronics Standards Associationの商標です。VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Apple、MacintoshはApple Computer Inc.の登録商標です。NECは日本電気(株)の登録商標です。

ScreenManager、PowerManagerは株式会社ナナオの商標です。EIZO、FlexScanは株式会社ナナオの登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。



Congratulations! You have just purchased a TCO'99 approved and labelled product! Your choice has provided you with a product developed for professional use. Your purchase has also contributed to reducing the burden on the environment and also to the further development of environmentally adapted electronics products.

Why do we have environmentally labelled computers?

In many countries, environmental labelling has become an established method for encouraging the adaptation of goods and services to the environment. The main problem, as far as computers and other electronics equipment are concerned, is that environmentally harmful substances are used both in the products and during their manufacture. Since it is not so far possible to satisfactorily recycle the majority of electronics equipment, most of these potentially damaging substances sooner or later enter nature.

There are also other characteristics of a computer, such as energy consumption levels, that are important from the viewpoints of both the work (internal) and natural (external) environments. Since all methods of electricity generation have a negative effect on the environment (e.g. acidic and climate-influencing emissions, radioactive waste), it is vital to save energy. Electronics equipment in offices is often left running continuously and thereby consumes a lot of energy.

What does labelling involve?

This product meets the requirements for the TCO'99 scheme which provides for international and environmental labelling of personal computers. The labelling scheme was developed as a joint effort by the TCO (The Swedish Confederation of Professional Employees), Svenska Naturskyddsforeningen (The Swedish Society for Nature Conservation) and Stagens Energimyndighet (The Swedish National Energy Administration).

Approval requirements cover a wide range of issues: environment, ergonomics, usability, emission of electric and magnetic fields, energy consumption and electrical and fire safety.

The environmental demands impose restrictions on the presence and use of heavy metals, brominated and chlorinated flame retardants, CFCs (freons) and chlorinated solvents, among other things. The product must be prepared for recycling and the manufacturer is obliged to have an environmental policy which must be adhered to in each country where the company implements its operational policy.

The energy requirements include a demand that the computer and/or display, after a certain period of inactivity, shall reduce its power consumption to a lower level in one or more stages. The length of time to reactivate the computer shall be reasonable for the user.

Labelled products must meet strict environmental demands, for example, in respect of the reduction of electric and magnetic fields, physical and visual ergonomics and good usability.

You will find a brief summary of the environmental requirements met by this product on the right. The complete environmental criteria document may be ordered from:

►TCO Development

SE-114 94 Stockholm, Sweden

Fax: +46 8 782 92 07, Email (Internet): development@tco.se

Current information regarding TCO'99 approved and labelled products may also be obtained via the Internet, using the address: ►<http://www.tco-info.com/>

Environmental Requirements

Flame retardants

Flame retardants are present in printed circuit boards, cables, wires, casings and housings. Their purpose is to prevent, or at least to delay the spread of fire. Up to 30% of the plastic in a computer casing can consist of flame retardant substances. Most flame retardants contain bromine or chlorine, and those flame retardants are chemically related to another group of environmental toxins, PCBs. Both the flame retardants containing bromine or chlorine and the PCBs are suspected of giving rise to severe health effects, including reproductive damage in fish-eating birds and mammals, due to the bio-accumulative* processes. Flame retardants have been found in human blood and researchers fear that disturbances in foetus development may occur.

►The relevant TCO'99 demand requires that plastic components weighing more than 25 grams must not contain flame retardants with organically bound bromine or chlorine. Flame retardants are allowed in the printed circuit boards since no substitutes are available.

Cadmium**

Cadmium is present in rechargeable batteries and in the colour-generating layers of certain computer displays. Cadmium damages the nervous system and is toxic in high doses.

►The relevant TCO'99 requirement states that batteries, the colour-generating layers of display screens and the electrical or electronics components must not contain any cadmium.

Mercury**

Mercury is sometimes found in batteries, relays and switches. It damages the nervous system and is toxic in high doses.

►The relevant TCO'99 requirement states that batteries may not contain any mercury. It also demands that mercury is not present in any of the electrical or electronics components associated with the labelled unit.

CFCs (freons)

►The relevant TCO'99 requirement states that neither CFCs nor HCFCs may be used during the manufacture and assembly of the product. CFCs (freons) are sometimes used for washing printed circuit boards. CFCs break down ozone and thereby damage the ozone layer in the stratosphere, causing increased reception on earth of ultraviolet light with e.g. increased risks of skin cancer (malignant melanoma) as a consequence.

Lead**

Lead can be found in picture tubes, display screens, solders and capacitors. Lead damages the nervous system and in higher doses, causes lead poisoning.

►The relevant TCO'99 requirement permits the inclusion of lead since no replacement has yet been developed.

* Bio-accumulative is defined as substances which accumulate within living organisms.

** Lead, Cadmium and Mercury are heavy metals which are Bio-accumulative.



このたび TCO'99 認証製品をお買い求めいただきました皆様はきわめて良識のある方々であり、私ども TCO'99 にとりましても誠に喜ばしいことです。皆様がお選びになった製品はプロフェッショナルコースのために開発されたものです。また、この製品をお買い求めいただいたことで、皆様は、環境への負担を軽減すること、そして環境に適合した電子製品をさらに発展させることに貢献されたことになるのです。

なぜ私どもはコンピュータ及び周辺機器に環境ラベルを貼っているのでしょうか？

今、多くの国では、環境ラベルを貼ることが品物およびサービスの、環境への適合を促進するための確立された方法となっています。コンピュータとその他の電子機器に関して言えば、製品そのものと、さらにそれらを製造する工程の中で環境に有害な物質が使用されていることが主な問題です。大部分の電子機器は満足いく方法でリサイクルすることができないため、環境にダメージを与える可能性を持った物質の殆どは遅かれ早かれ自然界に入り込んでいってしまいます。

この他にも、コンピュータにはエネルギー消費レベルといった問題があります。この問題は、労働環境(内の)と自然環境(外的)という二つの側面から重要になってきています。発電方式は全て環境に対し悪影響(例えば、酸性放出物、気候に影響を与える放出物、放射性廃棄物など)をもたらすため、エネルギーを節約することはきわめて重要なことです。オフィスで使用されている電子機器はしばしば作動状態のまま放置されるため、莫大な量のエネルギーを消費していることとなります。

TCO'99 ラベルは何を意味しているのでしょうか？

この製品は、パーソナルコンピュータの国際環境ラベルを提供する TCO'99 の要求事項を満たしています。このラベリング計画は、TCO(スウェーデン労働者組合)、Svenska Naturskyddsföreningen(スウェーデン環境保護団体)、Statens Energimyndighet(スウェーデンエネルギー局)による共同プロジェクトです。

TCO'99 承認の要求事項は、環境、エルゴノミクス、有用性、電磁界放射、エネルギー消費、電気的安全性、火災に対する安全性など、さまざまな領域にわたっています。

TCO'99 は、環境の項目では、重金属、臭素や塩素を含む難燃材、CFC(フロン)、塩素系溶剤などの含有および使用を制限することを課しています。ラベルが貼られた製品はリサイクルへの備えができていなくてはなりません。ひいては、製造者は実践していく場、すなわち所在国において環境保護にどのように対処するかの方針を持つことを余儀なくされるのです。

またエネルギーの項目では、コンピュータやディスプレイが一定時間使用されない場合、所定の時間が経過した後にはそれらの消費電力を一段階またはそれ以上の複数段階を経て低いレベルまで節約することを要求しています。但し、再び使用する際、そのコンピュータはユーザーにとって不便のない程度の時間内で復帰することとなっています。

このラベルのついた製品は、例えば電磁界の低減、エルゴノミクス(身体面および視覚面) 有用性など環境に関して、厳しい要求事項を満たしていなければなりません。

この製品が満たしている環境要求事項の概略を右に示してあります。環境基準文書全文は下記宛にて要求することができます。

▶TCO Development Unit

S-114 94 Stockholm, Sweden

Fax: +46 8 782 92 07, Email: (Internet): development@tco.se

TCO'99 の認証ラベリング製品に関する最新情報は、インターネットで下記のアドレスにアクセスして入手することができます。
▶<http://www.tco-info.com/>

環境保護要求

難燃剤

難燃剤はプリント基板やケーブル、ワイヤ、キャビネット、コネクタに含まれています。これらは発火を防ぎ、少なくとも燃焼を抑えるために使用されます。コンピュータケースに使用されているプラスチックの30%までが、難燃物質によってできている場合もあります。難燃剤の多くは臭素系あるいは塩素系であり、これらの難燃剤は他の環境有害物質群、PCBとも関わりがあります。臭素系、塩素系難燃剤とPCBは、生体蓄積*の作用により魚を食料とする鳥類や哺乳類の繁殖に与えるダメージを含む、健康状態への深刻な影響を引き起こすと考えられています。難燃剤は体内の血液にも発見されており、研究者達は胎児の成長障害の可能性を懸念しています。

▶TCO'99は25g以上のプラスチック部品には有機結合した塩素や臭素を含む難燃剤が含まれていないよう要求しています。難燃剤のプリント板への使用は代用となる材料がないためは認められています。

カドミウム**

カドミウムは、再充電式電池やある種のコンピュータディスプレイの蛍光体に含まれています。カドミウムは神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。

▶TCO'99は電池、ディスプレイの蛍光体、ディスプレイに使用されている電気・電子部品にはカドミウムが一切含まれないよう要求しています。

水銀**

水銀は、電池、継電器、スイッチに含まれていることがあります。水銀は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。

▶TCO'99は電池には水銀が一切含まれないよう要求しています。また、ラベルを貼られた製品に使用されている電気・電子部品には、水銀が一切含まれないよう要求しています。

CFC(フロン)

▶TCO'99はCFCならびにHCFCを製品の製造過程や、組み立ての際に使用しないよう要求しています。CFC(フロン)はプリント基板を洗浄する際に使用されることがあります。CFCはオゾンを分解し、成層圏のオゾン層にダメージを与えます。その結果、地表に届く紫外線が増加し、例えば、皮膚がん(悪性黒色腫)になる危険性などが高まります。

鉛**

鉛は、CRT、ディスプレイのスクリーン、半田やコンデンサに含まれています。鉛は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると鉛中毒を引き起こします。

▶鉛の代替物質はまだ開発されていないため、TCO'99は鉛の含有を認めています。

* 生体蓄積とは、生き物の体内に蓄積することを指します。

** 鉛、カドミウム、水銀は生体に蓄積する重金属です。